

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		本部町ことばの教室				公表日	令和7年 5月29日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	子どもの見守りをしっかりできるように、職員は多めに配置している。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0			現在、スロープ等を必要とする利用者はいませんが、いつでも対応できるように準備をすすめている所です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0				
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	子どもの心身の状態に合わせて、個別に過ごせる部屋を用意している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	3			出勤日数が少ない職員は参加できないことが多い為、情報共有を徹底していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	評価表だけでなく、日々のやり取りの中で、保護者から提案があったものについて、検討し取り入れている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10			現在、第三者委員会の設置を準備中です。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	リモート研修への参加、外部講師による勉強会等、職員の質の向上の為、研修を受ける機会を設けている。		今後も、いろいろな研修・勉強会に参加し、職員の質の向上を図っていきます。	
適切な支援の提案	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	ホームページにて、支援プログラムを公表している。		よりよい支援が提供できるように、定期的に支援プログラムの見直しを行っていきます。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	面談や支援会議等で、保護者の話を聴き、個々に合わせた計画を作成している。		保護者からの聴き取りが中心になることが多いので、子ども自身の意見や思いも、計画に落とし込んでいけるようにしていきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0				
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	サポートノートの利用や保護者、学校からの情報、職員が関わりの中で気づいたこと等を確認し、共有している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0			「地域支援・地域連携」の部分が不十分に感じるので、今後はそれらも踏まえた計画が立てられるようにしていきたいです。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	いろいろな活動を楽しめるように計画している。			

供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1	子ども自身が興味のある・好きな活動を選べるようになっている。	個別活動が多くなりがちなので、集団活動も意識して取り入れています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1		事前の打ち合わせができないことや、打ち合わせに参加できない職員もいるので、内容を掲示する等して、皆が確認できるようにします。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	支援の中で気になった点等をその都度職員間で共有している。	その場にいない職員にも伝わるように、皆が確認できる方法で情報共有していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	その日の支援内容、児童の様子を丁寧に記録するよう心がけている。	今後も、誰が読んでもわかりやすいように記録していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10	0	自立に向けて、いろいろな力がつくように、様々な活動を取り入れるよう心がけている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	児童発達支援管理責任者の他、必要であれば関わりの深い職員が参加するようにしている。	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	連絡帳や送迎時のやりとりで、その日の児童の様子等について担任と情報共有を行っている。また、学校の連絡アプリに登録することで行事や下校時刻の変更を確認している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0		卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行する児童がいる時は、移行前の支援会議等に参加し、情報共有を行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	10	児童発達支援センターではないが、地域で活動している方に研修や助言を依頼している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	10	地域のイベントに参加するようしている。	地域のイベントに積極的に参加したり、事業所主体で、交流できる行事を計画していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	0	町の自立支援協議会へ、代表者が参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	連絡帳や送迎時、電話等で保護者と情報共有を行っている。	
保	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	6	チラシを配ったり、口頭で伝えたりして、研修等の情報提供を行っている。	保護者も参加できる研修会を計画していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		専門用語等、慣れない言葉はわかりやすくし、丁寧な説明を心がけていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		
保	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	面談として場を設けるだけでなく、連絡帳や電話、送迎時等に相談や話があった時は、その都度応じている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	10	保護者会はないが、行事の時に保護者やきょうだいの参加を呼びかけ、交流する機会を設けている。	行事へ参加する保護者がいつも同じ方々なので、いろいろな保護者が参加できるような行事を計画していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	毎月事業所だよりを発行し、日々の様子や行事等のお知らせをしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	事業所だより等に、児童の写真を載せてもいいかなどの確認を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	10		地域住民が参加しやすい行事を開催する等して、工夫します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		マニュアルはあるが、全ての対応を訓練しているわけではないので、いろいろな場面を想定した訓練を行い、もしもに備えます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		津波等に対する避難訓練は十分でないので、定期的に計画し訓練していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	0	10		予防接種の確認ができないないので、確認を行います。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	保護者から情報をもとに、おやつや食事を提供する際、アレルギー食材に気をつけ、除去している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	子どもたちと一緒に消火訓練を行っている。防災センターの見学等で台風時や地震時の対処方法を子どもたちと一緒に模擬体験する。	その他必要な訓練を計画し実施するよう努めています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	10	保護者へ連絡ができるように体制を整えていく。	保護者への周知ができないので、文書を作成して、周知予定しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	気づいたこと・気になることはその都度共有し、どうしたらいいかを皆で考えている。	報告書や事例集を作成し、いつでも確認できるようにし、安全対策に役立てていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	講師を招いて、虐待防止についての研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0		該当する児童がいない為、身体拘束は行っていません。